

情報開示

情報開示に関する基本原則と情報開示基準

当社は、株主や投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様と長期的な信頼関係を構築することと適切な評価を得ることを目的として、経営戦略や財務状況等に関する情報について、公平性・透明性・継続性に配慮しながら正確かつ迅速な情報開示に努めていきます。

また当社では、金融商品取引法等の関係法令および東京証券取引所の定める適時開示規則等に従って開示を行っています。適時開示規則等に該当しない情報についても、株主・投資家の皆様にとって投資判断上有用であると思われる情報は、可能な限り積極的かつ公平に開示していきます。

株主との対話に関する方針

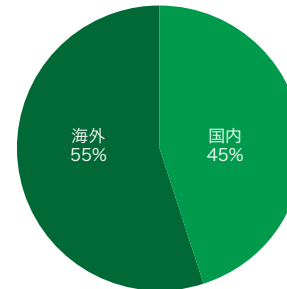
当社は、中期経営計画の進捗をはじめとする経営状況や財務情報等を積極的かつ適切に開示することが企業としての説明責任を果たすことにつながると考えており、株主・投資家の皆様との対話に積極的に取り組んでいます。

当社では、株主・投資家の皆様との対話および情報開示の所管部署をコーポレートコミュニケーション部、担当役員をコーポレートコミュニケーション部の担当役員とし、必要に応じ他の役員・部署等とも連携のうえ、株主総会、決算説明会、個別面談等の機会を通じて、株主・投資家の皆様との建設的な対話および情報開示に努めています。

2024年度活動実績

種別	回数・社数	主な対応者
決算説明会	2回	代表取締役社長執行役員 代表取締役専務執行役員 コーポレートコミュニケーション部長
電話説明会	4回	コーポレートコミュニケーション部長 コーポレートコミュニケーション部 IR室長
カンファレンス参加	5回／41社	代表取締役社長執行役員 代表取締役専務執行役員
スモールミーティング	3回／47社	代表取締役社長執行役員 代表取締役専務執行役員
個別面談 (海外IRを含む)	385社	代表取締役社長執行役員 代表取締役専務執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 コーポレートコミュニケーション部 IR室長
プロジェクト見学会	5回	IR担当・プロジェクト所管部店 担当
個人投資家向け説明会	1回	代表取締役専務執行役員

面談実績の国内・海外比率



※カンファレンス、スモールミーティング、個別面談における国内・海外投資家の比率（のべ473社当たり）

主なテーマや投資家の関心事項

- 長期ビジョンの具体的なイメージ
- 次期中期経営計画の開示時期・戦略の方向性
- 事業環境の動向、当社の認識
 - ・ オフィスビルや物流施設の賃貸、分譲マンション、不動産取引市場等の動向
 - ・ 投資の蓋然性と回収の手法
- 事業等における機会とリスク、対応策
 - ・ インフレ、建築費、金利ほか
- 株主還元、資本政策
 - ・ 配当性向、自己株式取得の方針
 - ・ ROEの目標水準、固定資産・政策保有株の売却方針
- ESG関連
 - ・ 環境負荷軽減の取り組み、人材戦略、政策保有株式の方針ほか

経営陣へのフィードバック

種別	頻度
アナリストレポート	四半期ごと
IR活動状況	四半期ごと／年間総括
株主関連指標、株価情報	四半期ごと／年間総括
株主・投資家との対話の内容	四半期ごと／年間総括

株主・投資家との対話に基づく主な対応

要望	対応
政策保有株式の縮減方針を示してほしい。	中期経営計画において、政策保有株式純資産比率を明確化。
株主還元を強化してほしい。	中期経営計画において、配当性向の引き上げを実施。自己株式の取得を決定。
社外取締役とのミーティングを設定してほしい。	社外取締役との個別面談を実施。
GHG排出削減ロードマップについて、詳細な説明をしてほしい。	サステナビリティ推進部とともに個別のESG面談を実施。